

令和5年JA鳥取中央らっきょう初出荷の出発式

本日は、令和5年産のらっきょう初出荷の出発式の開催、誠におめでとうございます。

コロナ禍で何かと作業等大変だったと思いますが、玉太りもよく順調に育ち、今後の販売に大いに期待が持てると思っております。

先日の販売対策会議では、市場の方からも「日本で一番良いらっきょうはと言えば、鳥取産だ。そして、鳥取のらっきょうと言えば、福部ではなく、この北栄のらっきょうだ。」という、報告がありました。すなわち、この北条砂丘地で作られたらっきょうが日本一というお墨付きをもらいました。生産者の皆さま、自信を持って生産していただき、出荷していただいたらと思います。

昨年は、売り上げが3年ぶりに6億円を突破し、今年は、生産面積も増えています。大きな期待しかありません。

そして、3月には、長年の懸案事項でありました、人手不足、特に切子不足解消に向け、鳥取大学や民間企業、そして町で連携し、掘り取りと同時に根や葉を切り取る機械の製作準備に取り掛かったところです。3年を目途に完成ということです。楽しみにしていただいたらと思います。

これから、どんどん暑くなってまいります。生産、集出荷、運搬、販売とどの過程においても、事故等ないように気を付けていっていただきたいと思っております。

目標を達成され、終了時には良い結果となりますことを祈念し、お祝いのあいさつ
とさせていただきます。

令和5年5月18日

北栄町長 手嶋俊樹